

参加者アンケート

「たった一日でこれほど多くの『人が変わるチャンス』を与えてくれる研修は率直にすごいと思った。『企業は人なり』という言葉通り、この研修は会社と私達、双方にとって有意義なものだったと思う」
(中堅社員)

「生きるとは、働くとはについて、その意味を考えた。自分が今まで深く考えていなかったこと、知っているつもりであったことを改めて考え直す非常に良い時間でした。講演やグループワークを通じて、仲間との縁や絆の大切さを再認識しました。ただ大切にするだけではなく、痛みや苦しみを共感し、良縁にめぐまれるように自分を磨きます」(新入社員)

「いのちが粗末にされる時代において、心の土台を築くのに必要なエッセンスを学び取ることができた。世は移ろっていくけれども、50年、100年先を見すえた人づくり、企業づくり、社会づくりを重大な責務だと感じた。そのためには自分自身が、いのちの大切さを心にとめ、感謝と謙虚さ、素直さを心がけていく。自己改革宣言をみんなの前にしたことで、自分を強くすることができた」(新入社員)

「死合せの中の幸せ、その言葉が心に刻まれた。自分は‘死’どころか、日々の区切りもできずにダラダラと過ごしていた。本当に何が大切かなんて考えてこなかった。今を一生懸命に生きる！ 自分のいのちを自分で輝かせる！ 涙の中で、生きる力が芽吹くのを感じました」(新入社員)

「一番印象に残ったのは、使命＝限りある命をいかに使うか、その言葉です。生きることも、働くことも一つ。生きることを考えずに、働くことは考えられません。人として生きる根幹を考えさせてもらいました。こんな素晴らしい研修を準備してくれた会社にも大感謝です」(新入社員)

「今までの自分は、目先の損得や上手くやることばかりを追いかけていました。自分の甘さで約束も直ぐ破ってしまい、他人は他人と心の底で思っていました。信頼を得るためには小さな約束を守る、言行一致、天の目を知る、その言葉が身にしみました。仲間の意見や思いを知ることもできてよかったです。自分一人だけでは生きられない。仲間と今日一日を頑張ります」(新入社員)

「一社会人としてだけではなく、家庭人として、人間として、これから何を考えなければいけないのかを学んだ。普通に生きていること、働けることのありがたさを本当に実感した。今日の講義のメモを見直し、自分で掘り下げて‘志’をみつきたい」(中堅社員)

「毎日の競争、競争、競争……。数字、数字、数字の中で、見過ごしていたこと、本当に大切なことを感動の中で気づかせてもらいました。とてもすがすがしい気分一杯です。今日のことを部下や家族にも話します」(管理職)

「生きること、働くこと、本当に大切なこととは、それを全社員が考えることが重要だと実感しました。新入社員も、管理職も、役員も、みんな感じてくれるはずです。まず一人が良くなってこそ会社は良くなる、全社員で聴いてもらいたい講演でした。感謝です」(経営者)